

多摩大学グローバルスタディーズ学部 【教職課程ハンドブック（2026年度以降入学生）】

(1) グローバルスタディーズ学部にて取得可能な免許状

- ・ 高等学校教諭一種免許状（英語）
- ・ 中学校教諭一種免許状（英語）

中学校又は高等学校の教諭の免許状を持っていると、小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校の小学部で、以下の内容を担当することが可能

- 保有免許状の教科に相当する教科（小学校の英語）
- 外国語活動（英語の教員免許状を有する者のみ）
- 保有免許状の教科に関する総合的な学習の時間
- 道徳
- 特別活動

■教員採用試験合格実績

合格年度	免許状取得者	合格人数	公私	勤務先自治体	中高	採用区分※	勤務地、勤務校など
2017	4名	1名	私立	神奈川県	高	専任	城南静岡
2018	2名	0名	—	—	—	—	一般企業、団体に就職
2019	8名	2名	公立	神奈川県	中	臨時任用	
		2名	私立	神奈川県	高	常勤	アレセイア湘南、横浜創学館
2020	3名	1名	公立	横浜市	中	専任	
2021	2名	1名	公立	横浜市	中	専任	
2022	7名	4名 (既卒1名)	公立	神奈川県	中	専任	茅ヶ崎市、葉山町、横須賀市、厚木市
		1名	私立	神奈川県	中・高	常勤	緑ヶ丘学院
		1名		茨城県	中・高	常勤	東洋大学付属牛久中学・高等学校
2023	7名	4名	公立	神奈川県	中	専任	厚木市、小田原市、葉山町 (1名は一般企業に就職)
		1名		横浜市	中	専任	
		1名		神奈川県	中	臨時任用	足柄上郡中井町
		1名	私立	神奈川県	高	常勤	日々輝学園
2024	6名	3名 (既卒2名)	公立	神奈川県	中	専任	海老名市、平塚市、大和市
		3名	公立	横浜市	中	専任	うち1名は小学校の英語専科教員

		1名	公立	静岡県	中	専任	
		1名	公立	静岡県	中	臨時任用	駿東郡長泉町
2025	5名	3名	公立	神奈川県	中	専任	綾瀬市、伊勢原市、横須賀市
		1名	公立	横浜市	中	臨時任用	

※採用区分

専任教員 : 正規の教員

臨時任用、常勤 : 任期付きの教員（専任よりも業務範囲が限定される分、給与等の待遇面で劣る。）

非常勤 : 担当の授業のみ行う。

(2) 教員免許状取得要件・単位修得要件

- ・ 基礎資格 : 学士の学位を有すること（大学を卒業せず、免許だけ取得することはできない）
- ・ 法令における最低単位修得要件

免許法施行規則に定める科目区分	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目
中学校教諭一種免許状	8	27	28
高等学校教諭一種免許状	8	23	24

- ・ 単位修得要件科目

区分	科目名	開講	区分	単位数	年次	備考
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本の法律	春秋	必修	4	1+	
	体育	春秋	必修	2	1+	
	Listening & Speaking (FYS) I	春秋	必修	2	1+	
	コンピューター入門	春	必修	2	1+	
教育の基礎理解に関する科目等	教職概論	春	必修	2	1+	
	教育原理	秋	必修	2	1+	集中
	特別活動	春	必修	2	2+	土曜
	総合的な学習の時間の指導法	秋	必修	1	3+	集中
	生徒指導・進路指導論	秋	必修	2	1+	
	教育制度論	秋	必修	2	2+	
	教育課程総論	春	必修	2	2+	
	教育方法（ICTを活用した教育の理論及び方法含む）	春	必修	2	2+	
	教育心理学（卒業要件に含む）	秋	必修	2	1+	共通
	特別支援	夏	必修	2	3+	集中
教育相談	秋	必修	2	3+	土曜	

区分	科目名	開講	区分	単位数	年次	備考
	道徳教育論	秋	必修	2	3+	
	介護等体験実習事前事後指導	春	必修	1	3+	
	教育実習Ⅰ	春秋	必修	3	4	
	教育実習Ⅱ	春秋	必修	2	4	
	教職実践演習（中・高）	秋	必修	2	4	
各教科の指導法	英語科教育法Ⅰ	春	必修	4	3+	
	英語科教育法Ⅱ	秋	必修	4	3+	
教科に関する 専門的事項	英語学Ⅰ	春	必修	4	2+	
	英語学Ⅱ	秋	必修	4	2+	
	意味論・語用論	隔年秋	選択	2	3+	
	社会言語学	隔年秋	選択	2	3+	
	英米文学Ⅰ	春	必修	4	2+	
	英米文学Ⅱ	秋	必修	4	2+	
	英米文学演習Ⅰ	春	選択	2	3+	
	英米文学演習Ⅱ	秋	選択	2	3+	
	Reading & Writing (FYS) Ⅰ	春秋	必修	2	1+	
	Listening & Speaking (FYS) Ⅱ	秋	必修	2	1+	
	Reading & Writing (FYS) Ⅱ	秋	必修	2	1+	
	Academic Reading Skills	春秋	選択	2	2+	
	Academic Writing Skills	春秋	選択	2	2+	
	グローバル社会と北米	春秋	必修	4	2+	
	グローバル社会とイギリス・EU	春秋	必修	4	2+	
	グローバル社会とオセアニア	春秋	選択	4	2+	
	異文化間コミュニケーション論	秋	必修	2	3+	
	Discover World (Study Abroad) Ⅰ	春秋	選択	2	1+	
	Discover World (Study Abroad) Ⅱ	春秋	選択	2	1+	
	Discover World (Study Abroad) Ⅵ	春秋	選択	4	1+	

(3) 履修モデル (教職科目関連のみ)

学年	科目の履修例	アドバイス
1年	AEP・コンピューター入門 日本の法律・体育	・AEPは1年次で全て合格すること。 ・66-6科目は最優先で1年次で合格を目指す。
	教職概論(1+)	・1年次必須合格。
	教育原理(1+) 生徒指導・進路指導論(1+) 教育心理学(1+)※卒業要件に含む	・「教育心理学」は共通科目として卒業要件に可算される。
2年 3年	特別活動(2+) 総合的な学習の時間の指導法(3+) 教育制度論(2+) 教育課程総論(2+) 教育方法 (ICT を活用した教育の理論及び方法含む) (2+) 英語科教育法 I、II (3+) 教育相談(3+) 道徳教育論(3+) 特別支援(3+) 介護等体験実習事前事後指導(3+)	・1+の科目を優先的に修得すること。 ・教職課程は2-3年生がピーク。単位を落とさないようにする。
	教科に関する専門的事項	2~3年の間にすべて修得すること。
4年春	教育実習	※受入先の指定で秋学期になることもある。
4年秋	教職実践演習	

※「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科の指導法」は、卒業要件単位に含まれない。

※「英語科教育法 I、II」、「道徳教育論」、「介護等体験事前事後指導」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別支援」及び「教育相談」は教育実習履修許可学生しか履修できない。

(4) 教職課程行事予定

学年	実施時期	行事	注意事項
1年	4月	教職課程説明会	履修について注意事項
	9月	教職課程説明会	履修について注意事項
2年	4月	教職課程説明会	履修について注意事項 教育実習内々諾活動調査票記入
	9月	教職課程説明会	履修について注意事項
	10月下旬～ 11月上旬	介護等体験実習申し込み許可審査会	
	2月	教職課程継続許可通知	メールで通知
	3月	教育実習内諾活動説明会	教育実習依頼方法について説明
3年	4月	健康診断	
	4月	介護等体験実習申込みと実習費（介護等体験実習&教育実習）支払い	教務課から事務連絡が増えるため、Gmailのチェックを欠かさず行うこと。
	4月～7月	教育実習受入依頼（内諾面談）	
	8月～11月	介護等体験実習	実習後、体験発表会を実施予定
	9月	教員採用試験対策を始める	まずは情報収集と受験先の絞り込み
	2月～3月	教員採用試験対策講座、等	
4年	5月～10月	教育実習	実習後、発表会を実施予定
	7月	教員採用試験1次試験	
	8月	教員採用試験2次試験	
	8月～3月	免許状授与申請	
	3月	学位授与式	免許状授与

(7) 教職課程の継続可否（教科教育法、教育実習履修可否）について

2年生終了時に教育実習履修の可否審査を行う。教育実習を履修するためには、2年生終了まで(※)に以下の継続条件をすべて満たす必要がある。

(継続条件)

- ・TOEIC Listening & Reading 500点以上の取得（学内 IP テスト、公開テストいずれも可）、または英語検定 2 級以上の合格
 - ・「教職概論」の単位修得
- その他、修得単位数が著しく不良の場合、教育実習を許可しないことがある。

(※継続条件の期日等に関して)

3月31日に最も近い当該年度の事務局営業日の17時までに提出された TOEIC L&R のスコアおよび英検 2 級以上の合格証明書（S-CBT を含む）を、要件の対象とする。なお、提出方法は次のとおりとする。

- ・教務課窓口に、TOEIC L&R 公式認定証や英検合格証明書の原本を提出すること。
- ・TOEIC デジタル公式認定証または英検デジタル証明書の場合は、教務課を訪ねたうえで本人が TOEIC または英検の受験者マイページにログインし、当該認定証または証明書を提示すること。電子メールのみの提出は認めない。

(8) 教職履修カルテについて

1年生秋学期から記載を開始する。「教職実践演習」（4年次秋学期に履修）に必要となる。

(9) 「教員力向上講座(3+)」について

3年次または4年次に、「教員力向上講座 I・II」を履修可能。

教員に必要な「人間性」「専門性」「社会性」等を深めるための科目であり、教員採用試験の対策も行うため、積極的な履修を推奨する。

(11) 「教職実践演習」について

4年次秋学期の「教職実践演習」は、教職履修カルテを使用して、教職課程における各科目で習得してきた内容、及び教育実習で得てきた体験等の振り返りを行う。

なお、本科目を履修するためには、通算 GPA が 2.0 以上であることが望ましい。

(12) 学校ボランティアについて

学校ボランティアに関する情報を随時提供する。積極的に参加することを推奨。

ボランティア経験は、教員採用試験の時に有利に働くことがある。

(13) 教員採用試験対策について

新卒で各都道府県や私立学校の教員を希望する学生は、早めに教職課程担当教員に申し出ること。ニーズに応じた採用対策を行う。

神奈川県、横浜市、川崎市には、特別選考（大学推薦）枠がある（推薦の基準あり）。

※基準について確認したい場合は、教務課に申し出ること。

(14) 「教職支援室」の利用について

W棟1階に「教職支援室」が設置されている。白板、黒板を設置しているほか、教員採用関連の書籍や「教育新聞」、「教員養成セミナー」等を配架している。

(15) 教育職員免許状発行

大学が神奈川県教育委員会へ一括申請する。

教育委員会への申請時に1免許状につき3,300円（税込）の申請手数料が必要。

（中学校／高等学校1種英語の場合、免許状が2つとなるため、6,600円（税込）を要する）。

(16) 小学校教諭一種・二種免許状取得について

星槎大学共生科学部との大学間協定により、2023年度より小学校教諭一種・二種免許状を取得可能。詳細は説明会にて説明する。

以上